

第2回 4月 センター試験本番レベル模試

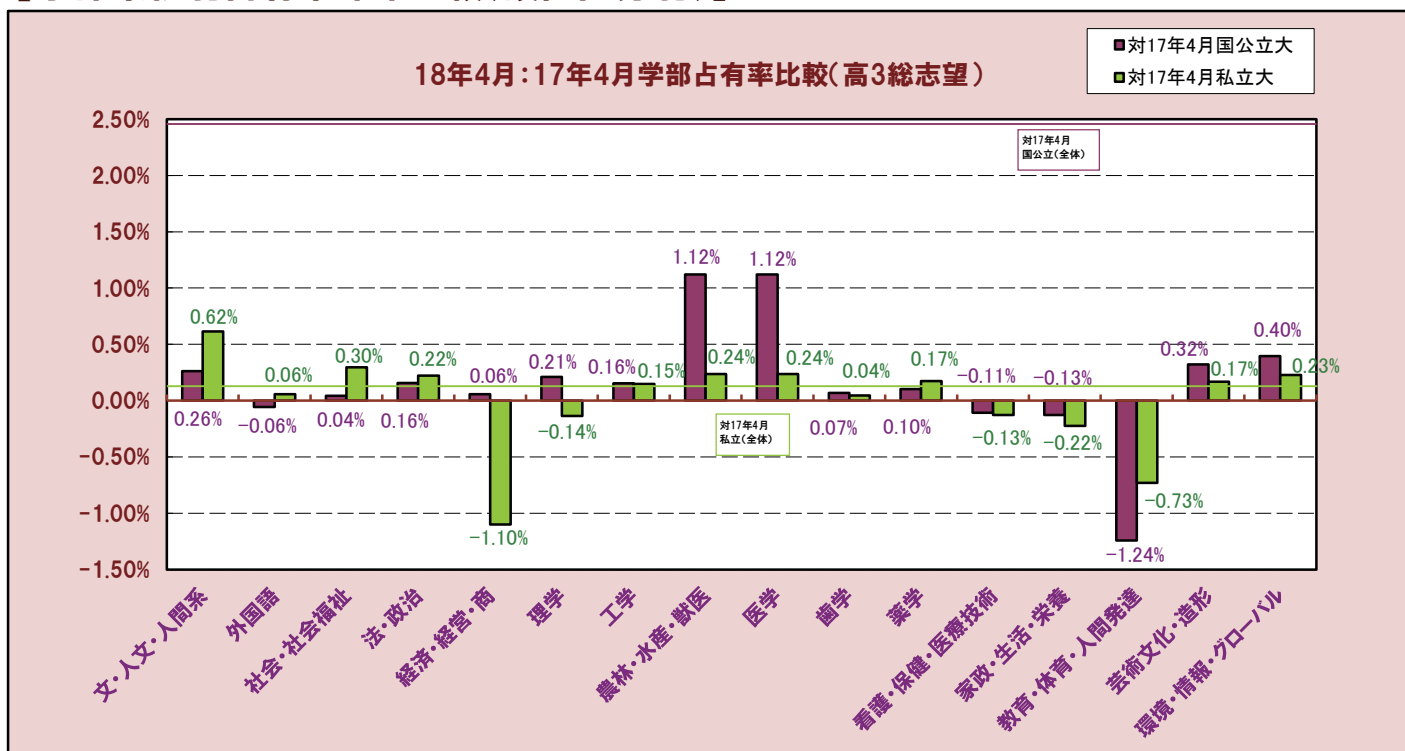
計画的に学習を進め、 夏までに基礎項目の完成を！

4月22日（日）に実施した「第2回 4月 センター試験本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験した先輩の志望動向と比較した。

先輩たちは受験生として迎えた昨年のこの時期を、どのような分野を大学で学びたいと考えながら学習に取り組んでいたのだろうか。

自分は将来どんな職業に就きたいのか、何を学びたいのか…志望校を選択するにあたって、現時点での動向を把握して、参考にしてほしい。

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	104	105	105
外国語	97	102	101
社会・社会福祉	103	106	105
法・政治	103	102	103
経済・経営・商	101	95	97
理学	103	97	100
工学	95	101	97
農林・水産・獣医	103	106	104
医学	114	111	112
歯学	110	115	112
薬学	103	104	104
看護・保健・医療技術	99	97	98
家政・生活・栄養	89	87	88
教育・体育・人間発達	86	86	86
芸術文化・造形	140	114	118
環境・情報・グローバル	108	103	105

■国公立大

志望が固まっていない受験生も多い時期であり、あくまでも現時点での傾向ではあるが、定員枠が少ないために志望者数の増減で指数が大幅に変動する系統以外は、それほど大きな変動はない。しかし、不人気傾向にある教育・体育・人間発達系はまだ回復の兆しが見られない状況である。

■私立大

国公立大と概ね似た傾向にはあるが、経済・経営・商学系統の志望者数が減少している。ただこれは、近年大幅に志望者が増加していたことの反動もあり、ハイレベルの競争を敬遠する傾向と思われるので、引き続き動向をチェックすべきであろう。また、農林・水産・獣医系も獣医学、畜産学で志望者が増加している点も注目すべき点といえる。

※このデータは、2018年と2017年の「第2回 4月 センター試験本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。